

ICTを活用し、栽培環境を「見える化」しましょう！

〇ICTとは？

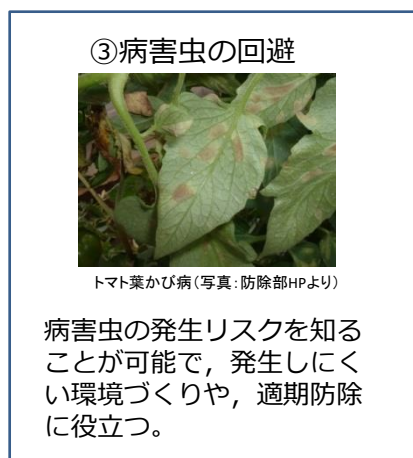
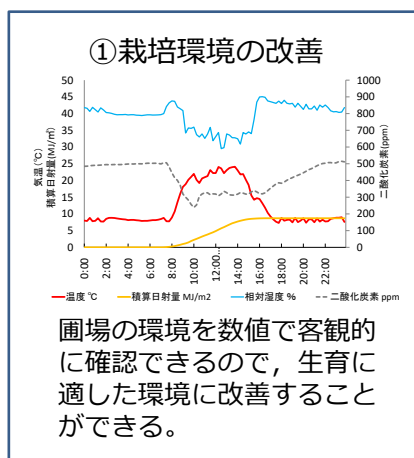
ICTは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」のことで、IT技術を活用し、人の暮らしや産業を豊かにしていく技術です。農業分野で活用することで、これまで、生産者の経験に基づいて行われてきた温度管理や栽培技術を数値で「見える化」でき、安定的で高品質な生産が実現できます。

ICTを活用し、ハウス環境モニタリングシステムを導入することで、圃場の状況（気温、地温、湿度、日射、CO₂濃度など）をスマートフォンやパソコンから手軽に確認できます。また、環境および生育データを蓄積・解析することで生育予測や病害虫の発生リスク予測、収穫適期判断、高品質多収生産に活用できます。



イチゴでの使用事例
左：本体 右：スマートフォン画像
(例：あぐりログ)

〇栽培環境の「見える化」で期待できること



〇ハウス環境モニタリングシステム紹介（一例）

ハウス環境モニタリングシステム紹介

R3.2月12日現在

システム・サービス名 (製品名) メーカー	利用料(税別)	測定可能項目	特徴	製品画像
あぐりログ (ログBOX) 株式会社IT工房Z	30000円/年～	温度、湿度、地温、CO ₂ 濃度、 日射、土壌EC、土壌水分、 土壌pF、飽差	・強制通風を標準装備しており、計測の精度が高い。 ・カルテ機能で日時に統計処理したデータを確認。	
みどりクラウド (みどりボックスPRO) 株式会社セラク	2260円/月 ※価格改定の予定あり	圃場画像、温度、湿度、地温、 CO ₂ 濃度、日射、土壌EC、土 壌水分、水位、風速、風向、 飽差	・追加センサーは最大6種類16個まで接続可能で、組合せの自由度が高い。 ・カメラ機能により、植物体の定点観測が可能。	
farmo (ハウスfarmo) 株式会社farmo	月額利用料無料 ※インターネット環境がある場合	温度、湿度、地温、CO ₂ 濃度、 日射、土壌水分、飽差	・センサーは作物ごとにラインナップ(いちご、トマト、きゅうり、メロン)。 ・太陽光発電で、24時間稼働	
ウルトラネット (ウルトラエースM) 渡辺パイプ株式会社	2480円～/月	温度、湿度、CO ₂ 濃度、日射、 飽差	・データ収集サーバ(親機)1台に対して、複数の計測ユニット(子機)を複数接続可能(複数のハウスを管理できる)。 ・親機と子機は無線のため、配線不要。	

※本体価格は、オプションセンサー等によっても異なり、販売代理店でお問い合わせください。

※製品画像は、各メーカーから提供

ICTに関するお問い合わせは、行方地域農業改良普及センター(0299-72-0256)までお願いします。